

翻訳にあたってのヒント

その 52

色にちなんだいろいろな英語

第 9 回

○ White、● Black、● Gray

「黒、black」と「白、white」とは、「白黒をはっきりさせる、白黒をつける」という言い方に見られるように、正邪善悪極端に相反する色である。ただこれは、むしろ黒と白という色の違いよりも、明暗に起因し、明＝良いこと、暗＝悪いことという結びつきからきていると思われる。英語の light、bright にも「明」と同様プラスイメージが、そして dark にはネガティブなイメージがつきまとう。「明るい人」はなぜか好感をもって受け入れられ、「ネクラ」は敬遠される。国際的なタブー調査でも、ほとんどの国では黒は「禁忌の色」とされている。色の好悪を調べたデータでも、黒が最下位の国が 16 カ国、下から 2 番目、3 番目の国が 6 カ国となっているようだ。さらに白が最下位の国はひとつもなかったという。黒がもつネガティブなイメージを表す語としては、Black Friday「魔の金曜日」、black sheep「厄介者」、blackball「のけ者にする」、blackmail「恐喝」、black market「闇市」などがある。一方の白のポジティブなイメージとなると、White Day「吉日」、white man「立派な人」、white lie「罪のないうそ」など多数ある。ただ、黒に比べて、白のほうが意味の広がり大きいのが、その理由は、白に「明るい」のほかに「なにもない」「無」という意味があるからであろう。日本語の「シロ」には、「素人」の場合のように「素」つまり「もとの状態」の意がある。武道でも有段者は黒帯を締めるが、初心者は白帯を締める。そして、戦いに敗れたほうが white flag「白旗」を掲げるのも洋の東西を問わず共通した習慣で、日本でも『日本書紀』の昔から行われているそうである。

● 「黒」の表現例：

- black out (一時的に) 気を失う (「真っ暗になる」が本来の意味)
- black eye 不名誉、敗北、恥
- be in the black 黒字である (決算書で利益分を黒のインクで書くことから)
- put ... down in black and white ~を (きちんと) 文書化する
- swear (that) black is white 黒を白と言う ; 「明らかなウソを平気でつく」「堂々とデタラメを言う」「ウソツパチを言う」
- be black and blue 青あざだらけになっている

● 「白」の表現例：

- wash whiter than white 清廉潔白である、人格にけがれがまったくない
- white hat 正義の味方、高潔な人物、善玉、ヒーロー
この逆の「悪玉、敵役、悪役」は black hat という。

- white lie たわいのないウソ、悪意のないウソ、善意から出たウソ、軽いウソ
- white feather 憶病者、憶病さの象徴、証拠
- whited sepulcher 偽善者
- white elephant 無用の長物、厄介者

この系統色の英語表現：

- ▼ This cat's fur is white as snow. この猫の毛は雪のように真っ白だ。
- ▼ I will have to see the plan in black and white before I can approve it. その計画に賛成する前に、それを文書にしたものを見る必要がある。
- ▼ John is the black sheep of the family. ジョンは家族の中で最もでくの悪い子である。
- ▼ I was so shocked by the scene that I blacked out for a minute. その光景があまりにもショッキングであったので、少しの間気を失った。
- ▼ George got angry and gave me a black eye. ジョージは怒って、私の目のあたりを殴ったのであざができた。
- ▼ The new manager put the company back in the black. 新しいマネージャーは会社を黒字にした。

● Gray

白と黒の中間に「灰色、gray」がある。ひとことで灰色といっても、gray scale というものが存在するようにさまざまな濃淡があり、そこでは通常 256 階調が使われている。色紙を使った心理実験でも、100 段階ぐらいの明暗の違いを人間は感じとることができるという。日本語では、灰色高官などとしばしば政治家に冠されるように、黒に近い使われ方がされる。ただし、英語ではそうした用法は少ない。日本人が心に描く灰色が、英米の人々のそれよりも暗いからなのであろうか。英語で灰色は、「熟練、円熟」を意味し、gray wisdom 「円熟した知恵」、the gray-haired 「白髪の人」、gray beard 「老練者、賢人」などと言ったりする。

第 52 回目はこれにておしまい。